



三菱ハウジングエアコン 別売 フレキシブルダクト(φ150・1m / 2m)
形名 MAC-515FD / MAC-516FD

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされ不備があると、
水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの
原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。

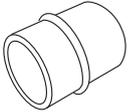
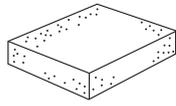


■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、
ケガなどの原因になります。



■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品
を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

	①	②	③	④	⑤
部品	フレキシブルダクト 	継ぎ手 	バンド 	断熱材 	ビニールテープ 
個数	1	1	2	1	1

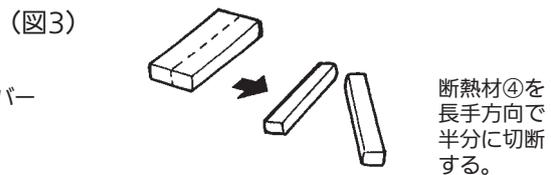
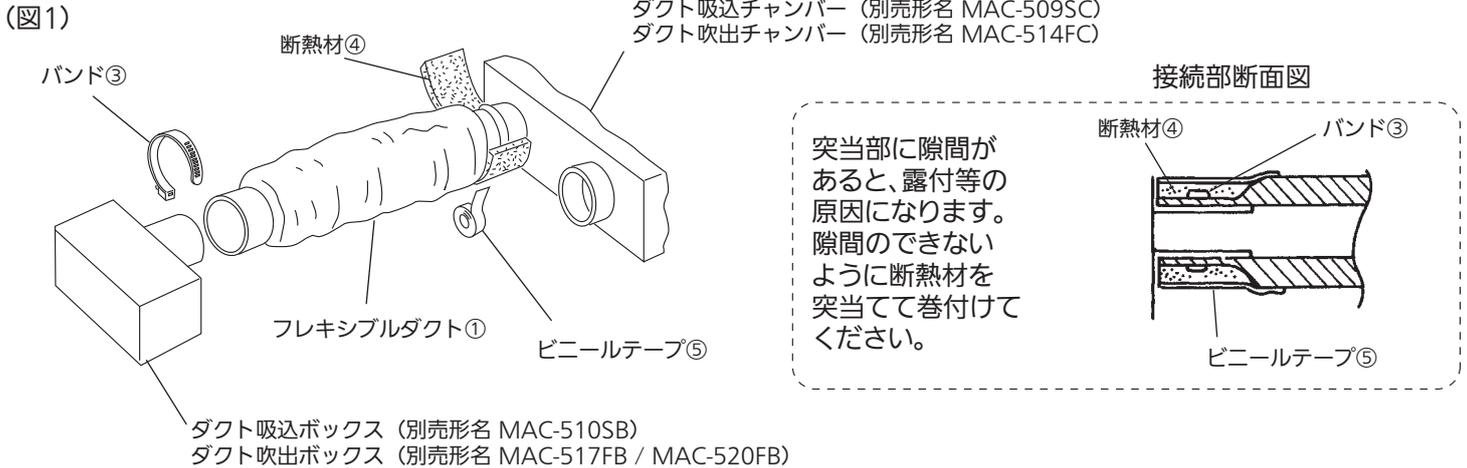
お願い

高温多湿の場合は、断熱材(エーテル系ポリウレタン 比重0.063、肉厚20mm以上相当品)
をフレキシブルダクトに必ず巻付けてください。

2 フレキシブルダクトの取付け

フレキシブルダクトとダクト吸込チャンバー・ダクト吹出チャンバーおよびダクト吸込ボックス・ダクト吹出ボックスとの接続

1. フレキシブルダクト①を室内機側に取付けられたダクト吸込チャンバー（別売形名 MAC-509SC）、ダクト吹出チャンバー（別売形名 MAC-514FC）および反対側に取付けられたダクト吸込ボックス（別売形名 MAC-510SB）、ダクト大吹出ボックス（別売形名 MAC-517FB）、ダクト小吹出ボックス（別売形名 MAC-520FB）のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。（図1、2参照）
2. 断熱材④で、バンド③を覆うように巻付けます。
この時、断熱材④は長手方向で半分に切断して、ダクト吸込チャンバー・ダクト吹出チャンバー側とダクト吸込ボックス・ダクト吹出ボックス側の両端にそれぞれご使用ください。（図3参照）
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。

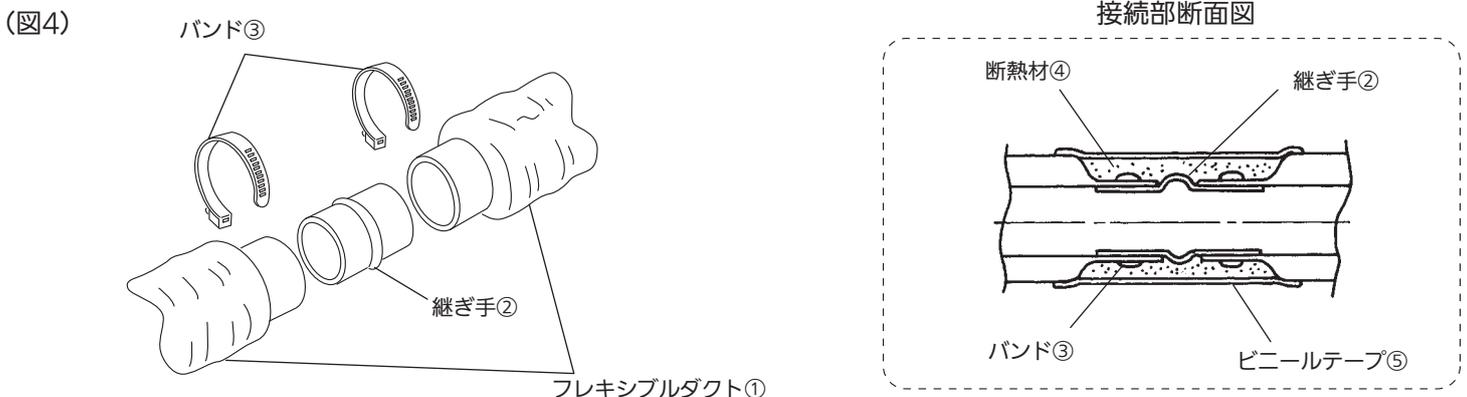


お願い

断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻付けてください。

フレキシブルダクトどうしの接続

1. 継ぎ手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締付けます。（図4参照）
2. 断熱材④でバンド③を覆うように巻付けます。（断熱材④は切断しないでご使用ください）
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。



お願い

断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻付けてください。